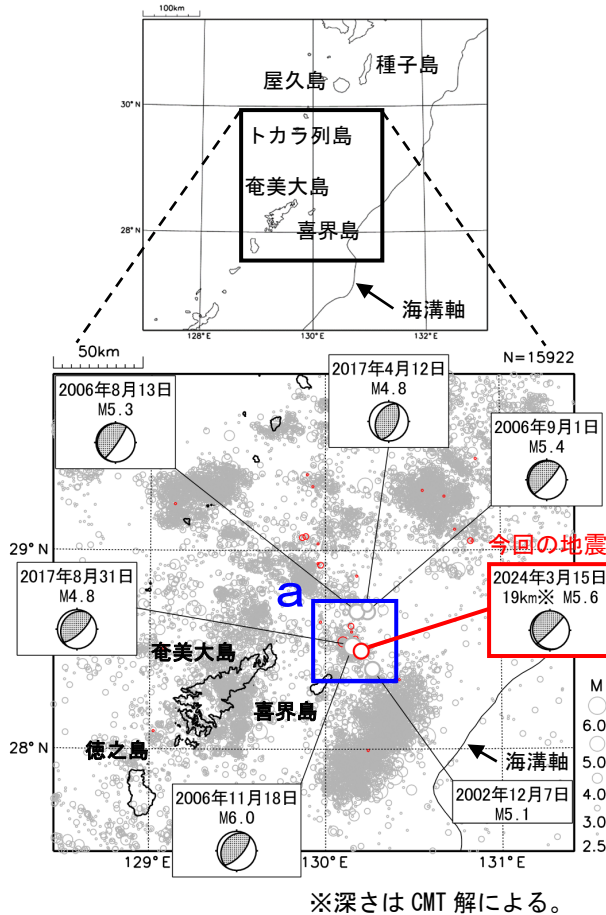
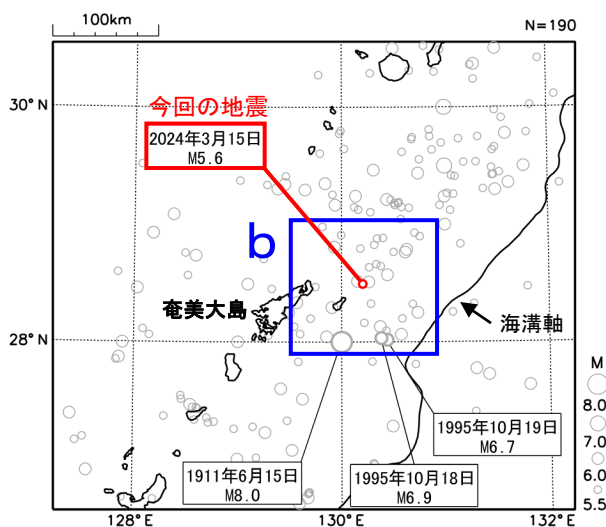


3月15日 奄美大島近海の地震

震央分布図
(1994年10月1日～2024年3月31日、
深さ0～60km、 $M \geq 2.5$)
2024年3月の地震を赤色○で表示
図中の発震機構はCMT解



震央分布図
(1885年1月1日～2024年3月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.5$)



(震源要素は、1885年～1918年は茅野・宇津（2001）、
宇津（1982, 1985）による※)

※宇津徳治（1982）：日本付近のM6.0以上の地震および被害地震の表：1885年～1980年、震研彙報、56、401-463。

宇津徳治（1985）：日本付近のM6.0以上の地震および被害地震の表：1885年～1980年（訂正と追加）、震研彙報、60、639-642。

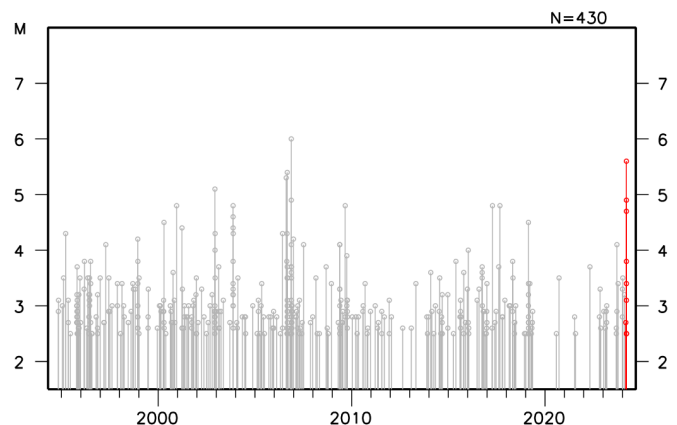
茅野一郎・宇津徳治（2001）：日本の主な地震の表、「地震の事典」第2版、朝倉書店、657pp。

2024年3月15日19時32分に奄美大島近海の深さ19km（CMT解による）でM5.6の地震（最大震度4）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は北西-南東方向に圧力軸を持つ型である。この地震後、3月31日までに震度1以上を観測した地震が3回（震度3：1回、震度2：1回、震度1：1回）発生した。

1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M5.0以上の地震が今回の地震を含め5回発生している。

1885年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M6.0以上の地震が時々発生している。1995年10月18日に発生したM6.9の地震（最大震度5）及び翌19日に発生したM6.7の地震（最大震度5）により、喜界島で負傷者1人、住家一部破損4棟などの被害が生じた。これらの地震により、鹿児島県の中之島で43cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測するなど、関東から沖縄にかけての太平洋沿岸で津波を観測した（被害は「日本被害地震総覧」による）。また、1911年6月15日にはM8.0の地震が発生し、死者7名、負傷者26名、住家全壊418棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域a内のM-T図



領域b内のM-T図

